

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 17)

件名	塩化カリウムによる配管腐食部からの漏えい														
事象の概要	<p>(1) 発生場所・機器 精製建屋：溶媒再生工程</p> <p>(2) 発生の状況 工程停止中</p> <p>(3) 概要 工程停止中に塩化カリウム注入型pH計を取外し忘れていたため、配管内に塩化カリウムが滴下され続け、塩素イオンによる孔食が発生し、配管曲げ部の溶接部から溶液のにじみが発生</p> <p>*他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p>														
事象による影響	<p>(1) 環境への影響 工場外への影響は生じない。 精製建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う配管等の交換工事であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 巡視点検等により漏えいを発見後、漏えい箇所を隔離し、漏えいを停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 漏えい箇所の復旧にあたっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 工程は停止期間中であるため他工程への影響は生じない。</p>														
対応の概要	<p>(1) 当該部を含む配管(ライン)を隔離し、配管溶接部からの硝酸にじみ部に養生を行う。</p> <p>(2) 定められた保守作業手順に従って、配管等の交換工事を行う。</p> <p>(3) 交換工事終了後、配管(ライン)からの漏えいが無い事及び性能が確保されていることを確認し、異常のない場合は、定められた操作手順により運転を再開する。</p>														
公表区分	休祭日を問わず速やかに公表(夜間の場合は翌朝)(プレス公表)														
対応区分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 20%;">(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="width: 20%;">(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="width: 20%;">(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="width: 20%;">(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 12.5%;">0以下</td> <td style="width: 12.5%;">1</td> <td style="width: 12.5%;">2</td> <td style="width: 12.5%;">3</td> <td style="width: 12.5%;">4</td> <td style="width: 12.5%;">5</td> <td style="width: 12.5%;">6</td> <td style="width: 12.5%;">7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p>放射性物質の外部放出 → 工場外への影響</p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等 → 工場内への影響</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下</p> <p>運転時隣接範囲からの漏洩等 → 多重防護の劣化</p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止											
0以下	1	2	3	4	5	6	7								

本事象は工程停止中に発生したもので対応区分該当なし。

